



購料部 六拾六錢
寄部 六拾五錢
本報社 四拾五錢
發行所 四拾五錢
印刷所 四拾五錢

恩給法改正問答

高城生

問、今回の恩給法の改正の主要點は何ですか

答、以前は在職十五ヶ年で終身恩給を給せられたのが、十七ヶ年在職と改まり、一時恩給は、前に満一ヶ年以上は凡て給せられたのが、満三ヶ年以上の者のみとなり、扶助料に付ては、大なる改正なきも、扶助料を有する寡婦が結婚しても入籍せざれば扶助料を給せられたるも今回の改正に付ては、入籍せざるも事實上結婚したる者と恩給審査會に於て認められたる時は、扶助料を受くる事が出来ぬ事となつたのです。

問、恩給金額に就いては

答、恩給の率には變りはないが、従前は退職當時の俸給を基礎としたるが故に、退職の際増倍せられたる者は其増倍せられたる俸給により、恩給額を計算せられたるも、今回は退職以前一ヶ年間の俸給額により計算することに改められたるを以て、退職の際増倍せられても普通の場合に於ては恩給には何等の關係ありません。

問、夫れは大きな問題ですか普通ではと云ふと特別

答、特別の場合には退職一年以内の増倍が恩給に大に功果があるのです。一、公務の爲傷病又は疾病に罹り退職又は死亡したる者は、死亡又は退職の際の昇級が、級俸の規定ある者に付ては一級、其定めなきものは、俸給の百分の十五迄の増倍を、一ヶ年前に増倍ありたるものと認む。

奇縁と念願

足柄上郡岡本校々長

片岡清三

私が十二歳の頃、母校の生を待ち侘て居た。夏も花形として非常に評判の良過ぎて残暑のころとなつた。先生がゐた。其の方が奇縁の陽は思ひ切りよく、じつと私の母方の姻戚であり、と照りつける九月の家に養子に縁つた。其頃私の尋常六年級に於て、其頃私の尋常六年級の擔任の先生でこの久最大の喜びは實に此の時であつたのである。今でも其の時の心情が、やさしさと愛の心に沁み入つて居る。今でも其の時の心情が、やさしさと愛の心に沁み入つて居る。今でも其の時の心情が、やさしさと愛の心に沁み入つて居る。

問、他のにありませぬか

答、恩給の給與せらるべき公務員の在職中、俸給の百分の一宛毎月納付金を爲す義務ありしが、今回は倍額乃至百分の二宛納付する事に改められ公務員中従前は納付の義務なかりし市町村立小學校教員も百分の一宛納付する義務が新に規定せられたる事となつた。

問、恩給法の改正案は頗る長文のものなるを以て、其主要なる點、殊に學校教職員に直接關係ある部分のみを問答體に平易に記載したるものです。

對的に正と、善とし、美とし、聖として恰かも天賦の神權的の盲信するものも、可成に多くあるのでは無からうか。吾人教育者として此の點は嚴戒を要する處。特に一校の經營者監督者の戒心を要する要諦では無からうか。

私の古外套とアメリカ

白幡一燈

アメリカの經濟學者である業者の大群に職業を與へる上院の議員であるゼット・ヤウの御同情は聞くにラウク氏は、さる委員會席を以て私に極端満足の意を表するものである。が併し其千二百萬の失業者が職に就く結果、益々過剰を來して居るが就中、物價の統制すべき生産は之を如何にするか、右は米誌所載の一記事であるが私は今のアメリカ財界と私の古外套を思ひ合はせられた。

「ラウク氏の御説は誠に御尤である。アメリカ經濟界の不均整なる物價の統制、均衡や通貨問題、産業の振興策、貿易並に爲替に關する問題もあれば失業救済並に聊か強味があるがアメリカカのは曰く三億萬ドルの本と修正案を極説した。結局、原案通り可決されるに至つたがアメリカには聯邦と州、州と個人の複雑な端尻し得ざる事情の伏在があつて之れが悉く經濟世に禍するものである。

金澤文庫

金澤文庫の活動 (續)

金澤文庫長 關靖

金澤文庫秘藏説の起つた原因 (下)

定而 皆々虫 入可申 と存候 へ共、

數多御座候古書に候へば好敷存候故、一の室へ私罷越申候へば、依に入天井に御座候へば、近年之内不殘虫の巢に成候て、跡形なく可罷候古書共惜き事に候、且は御寺に相殘候爲候間、箱を寄進可仕候、其魁不殘一見仕、目錄を調箱へ入可進候、其内所望に存候書は、借用仕御寺に而成其時寫候様に仕度候由申候へば、一の室被申候は其段相心得候、衆僧中相談可仕候、左候へば混雜仕とち余など無之は、次而にとち合候て箱に入申様可仕候、部數も多候故、左様の事も當年中は難成候間、相談相極、來春案内可申由、一の室被申候、何共及才覺不申候故、金澤に而肝煎申人々へ彌頼入、稱名寺僧衆へ能々申入、何とぞ合點被致候て、飛脚に而案内頼入候由頼置、先私に鎌倉へ罷出申候、御用可立書有之間敷も不存候へ共、十餘條の古書好敷存候へば、右之通及才覺候、其外金澤之寺々在家相尋候へ共、經文之類許に御座候、弓矢の道具無御座候、器物も可然道具無御座候、其内俗家之用にも可罷成物共は覺

奥村伊與様 横山志摩様 津田太郎兵衛 津田太郎兵衛署名の書籍目錄が發見されてゐるが、何にも文句が記してないので、借りた時の書類か、返納した時の書類か、分らないので、その書目の中に、現在前田家にあるものがある所から考へると、借り出した時の書類であらうとおもはれる、此所では關係のない事であるから、この事は省略する事にす。

以上引用した幾多の實例によつて、北條氏滅亡後の庫書は、可なり厳密に秘藏されて居たといふ事が分る。そしてこの秘藏といふ事が、特に稱名寺の僧侶か眞宗の信徒であつただけに一層手厳しかつたもの、様で、萬里をして「呼律縛之傳、但守法而已」と嘆嘆せしめたのも、その爲めである、五院の住職が揃つて居るに、之を拒絶せんが爲め、秘藏されて居たといふ事、如何にその秘藏の堅固な事か、如何にその秘藏の秘説あるものか堅く守られて居たかといふ事が分る。二三の例を擧げて見ると。

○ 雜抄の奥に、 建長七年卯九月十二日 於三條御房、以三平等房御本、書寫了、殊有秘藏之篇、更莫及、外見而已

○ 持犯文集の奥に、 右無雙之抄書也、泰下踐尋大德以御自筆、寫置上所也、後見之憚多候也、雖然爲愚陋養、也可秘々、 應永卅五年三月廿九日 自西剋至同夜已書了

○ 法門 榮義 廿性 心鑿抄の奥に、 干時嘉吉三年六月十二日 於二條樂寺報恩勸學院定文字可誤多敷、然後日可改書、物也、然抄者爲睿暗大德御草間、不可依筆之善惡、可爲當宗之重寶、一書寫之畢、彌々可秘々々比丘々々、 想似菟苺 鏡心通 無 別異弘願集の奥に、 建長六年甲 七月廿九日 於遠田郡長崎郷來迎寺東面奉寫畢、後見人可唱南无阿彌陀佛十返也、

○ 自下河原宮返給請 文事 所授賜尊法作法等事 一不瀧一紙半紙可一奉返御門跡一事 一難奉返一本一事 一假名注同可返事 一縱爲一事一言不 一抄留事 一難一兩說 以御流口決不可授門弟一事 右五箇條趣、任敎命之起請如斯、若雖織

○ 芥邊嚴旨之兩部諸 尊三國高祖金剛天等護法善神、必加速疾之證罰、可失現當之利益、 敬白 延慶二年五月廿二日 小比丘劍阿(花押)

○ 敬白 起請文條々事 一秘抄廿帖不可授門弟一事 一六卷重書同不可授門弟一事 一野月澤見等御流方事、隨御免一人仁仁授人候者、可授其仁仁之由、兼可申案内一事 一至三閉眼之期所勞危覺候者、當寺老僧之上衆一兩人、又極樂寺長老等御聖敎事、可取進之由、可申置可事 一御聖敎悉加封納可調置事 一於同法等中、重書傳受之由、不可自稱一事 右此等條々令違失者、兩部法與金剛天等之可蒙冥罰之狀如件 正和五年三月廿二日 劍阿 在判

○ 是等嚴秘の習慣から、自然全部の庫書までを嚴重に秘藏する事になつたものであらう。

然し以上擧げ來つた實例は、何れも北條氏滅亡後三、四十餘年後からのもので、言ひ換へれば金澤文庫の全部の所有が、全く稱名寺僧徒の手に移つてからの事である。一二の學者か、金澤文庫は曾て公開せられた事がないと斷定してゐるのは、何れも皆以上の實例から、北條氏時代の文庫を想像しての推論であつて、別に北條氏時代に金澤文庫が公開されて居たかつかつたと論定すべき何等の資料がないのである。だから僅かでも北條氏時代に金澤文庫が公開して居たと想像される様な資料が現はれて來れば、彼の所謂文庫死藏説なるものは、根本からくつがへされて仕舞ふ譯である。

○ 敬白 起請文條々事 一秘抄廿帖不可授門弟一事 一六卷重書同不可授門弟一事 一野月澤見等御流方事、隨御免一人仁仁授人候者、可授其仁仁之由、兼可申案内一事 一至三閉眼之期所勞危覺候者、當寺老僧之上衆一兩人、又極樂寺長老等御聖敎事、可取進之由、可申置可事 一御聖敎悉加封納可調置事 一於同法等中、重書傳受之由、不可自稱一事 右此等條々令違失者、兩部法與金剛天等之可蒙冥罰之狀如件 正和五年三月廿二日 劍阿 在判

○ 是等嚴秘の習慣から、自然全部の庫書までを嚴重に秘藏する事になつたものであらう。

然し以上擧げ來つた實例は、何れも北條氏滅亡後三、四十餘年後からのもので、言ひ換へれば金澤文庫の全部の所有が、全く稱名寺僧徒の手に移つてからの事である。一二の學者か、金澤文庫は曾て公開せられた事がないと斷定してゐるのは、何れも皆以上の實例から、北條氏時代の文庫を想像しての推論であつて、別に北條氏時代に金澤文庫が公開されて居たかつかつたと論定すべき何等の資料がないのである。だから僅かでも北條氏時代に金澤文庫が公開して居たと想像される様な資料が現はれて來れば、彼の所謂文庫死藏説なるものは、根本からくつがへされて仕舞ふ譯である。

○ 敬白 起請文條々事 一秘抄廿帖不可授門弟一事 一六卷重書同不可授門弟一事 一野月澤見等御流方事、隨御免一人仁仁授人候者、可授其仁仁之由、兼可申案内一事 一至三閉眼之期所勞危覺候者、當寺老僧之上衆一兩人、又極樂寺長老等御聖敎事、可取進之由、可申置可事 一御聖敎悉加封納可調置事 一於同法等中、重書傳受之由、不可自稱一事 右此等條々令違失者、兩部法與金剛天等之可蒙冥罰之狀如件 正和五年三月廿二日 劍阿 在判

○ 是等嚴秘の習慣から、自然全部の庫書までを嚴重に秘藏する事になつたものであらう。

然し以上擧げ來つた實例は、何れも北條氏滅亡後三、四十餘年後からのもので、言ひ換へれば金澤文庫の全部の所有が、全く稱名寺僧徒の手に移つてからの事である。一二の學者か、金澤文庫は曾て公開せられた事がないと斷定してゐるのは、何れも皆以上の實例から、北條氏時代の文庫を想像しての推論であつて、別に北條氏時代に金澤文庫が公開されて居たかつかつたと論定すべき何等の資料がないのである。だから僅かでも北條氏時代に金澤文庫が公開して居たと想像される様な資料が現はれて來れば、彼の所謂文庫死藏説なるものは、根本からくつがへされて仕舞ふ譯である。

○ 敬白 起請文條々事 一秘抄廿帖不可授門弟一事 一六卷重書同不可授門弟一事 一野月澤見等御流方事、隨御免一人仁仁授人候者、可授其仁仁之由、兼可申案内一事 一至三閉眼之期所勞危覺候者、當寺老僧之上衆一兩人、又極樂寺長老等御聖敎事、可取進之由、可申置可事 一御聖敎悉加封納可調置事 一於同法等中、重書傳受之由、不可自稱一事 右此等條々令違失者、兩部法與金剛天等之可蒙冥罰之狀如件 正和五年三月廿二日 劍阿 在判

○ 是等嚴秘の習慣から、自然全部の庫書までを嚴重に秘藏する事になつたものであらう。

然し以上擧げ來つた實例は、何れも北條氏滅亡後三、四十餘年後からのもので、言ひ換へれば金澤文庫の全部の所有が、全く稱名寺僧徒の手に移つてからの事である。一二の學者か、金澤文庫は曾て公開せられた事がないと斷定してゐるのは、何れも皆以上の實例から、北條氏時代の文庫を想像しての推論であつて、別に北條氏時代に金澤文庫が公開されて居たかつかつたと論定すべき何等の資料がないのである。だから僅かでも北條氏時代に金澤文庫が公開して居たと想像される様な資料が現はれて來れば、彼の所謂文庫死藏説なるものは、根本からくつがへされて仕舞ふ譯である。

坊つちやんの後日物語り

昔床しい珍談

静岡教育誌から

「あれは小説だよ」 漱石先生は云ふ 「坊つちやん」は山嵐と共謀して、赤シャツと野田が道後湯の町の角屋で泊つたところを見つけてその翌朝、朝戻りの赤シャツと野田を「温泉の町」はづれの松並木のある道に擁して散々な目にあはして坊つちやんはその日の夜の汽船で東京へ引き上げた。

漱石先生は、明治二十九年四月熊本第五高等學校教授に榮轉、四月十日に松山を出發せられる事になつた。當時の

「あれは小説だよ」 漱石先生は云ふ 「坊つちやん」は山嵐と共謀して、赤シャツと野田が道後湯の町の角屋で泊つたところを見つけてその翌朝、朝戻りの赤シャツと野田を「温泉の町」はづれの松並木のある道に擁して散々な目にあはして坊つちやんはその日の夜の汽船で東京へ引き上げた。

漱石先生は、明治二十九年四月熊本第五高等學校教授に榮轉、四月十日に松山を出發せられる事になつた。當時の

「あれは小説だよ」 漱石先生は云ふ 「坊つちやん」は山嵐と共謀して、赤シャツと野田が道後湯の町の角屋で泊つたところを見つけてその翌朝、朝戻りの赤シャツと野田を「温泉の町」はづれの松並木のある道に擁して散々な目にあはして坊つちやんはその日の夜の汽船で東京へ引き上げた。

漱石先生は、明治二十九年四月熊本第五高等學校教授に榮轉、四月十日に松山を出發せられる事になつた。當時の

「あれは小説だよ」 漱石先生は云ふ 「坊つちやん」は山嵐と共謀して、赤シャツと野田が道後湯の町の角屋で泊つたところを見つけてその翌朝、朝戻りの赤シャツと野田を「温泉の町」はづれの松並木のある道に擁して散々な目にあはして坊つちやんはその日の夜の汽船で東京へ引き上げた。

漱石先生は、明治二十九年四月熊本第五高等學校教授に榮轉、四月十日に松山を出發せられる事になつた。當時の

「あれは小説だよ」 漱石先生は云ふ 「坊つちやん」は山嵐と共謀して、赤シャツと野田が道後湯の町の角屋で泊つたところを見つけてその翌朝、朝戻りの赤シャツと野田を「温泉の町」はづれの松並木のある道に擁して散々な目にあはして坊つちやんはその日の夜の汽船で東京へ引き上げた。

尊徳先生の遺法

報徳趣法と表旌

古屋安定

心田の荒蕪を開拓して、此の現しに安樂境を築かうとした二宮先生が、先づ民心の作興に意を注いだ事は當然だとも云へるが、又流石に卓見だとも見ねばならない。而して先生の表旌方法が極めて獨創的で且合理的であること、如何に心をこめて行つたか、又その進化發展して行く過程に強い興味も覺えられるし、旁々先生の一面も知ることが出来るので、次にその大要を述べて見やうと思ふ。

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

の朗讀を聞いてゐられたが、ひどく面白いと思はれた。その後雜誌「七人」を發行してゐた小山内薫氏に遇つた時、漱石氏のところに坊つちやんといふ面白い原稿が出来てゐるのをもらつたらうといふので、小山内氏は早速野村さんにその周旋を頼んだものである。野村さんは漱石氏のところへ行つてその由を傳へると、漱石氏は「もうおトトギスと載せる廣告まで出したのだから、それは困る」といつて斷はられた。仕方がないので野村さんは漱石先生に、此事を申し送つて「坊つちやん」の代りに何か「七人」に書いてやつて貰ひたいと頼まれた。すると漱石先生からこんな返事があつた。(續)

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

一 表旌は報徳趣法に於ける一つの重要な事業であると思へる程、先生は到る處の趣法に於て履行してゐるが、今その一例として會比村を擧げると、先生が會比の趣法を行つた天保十一年の春三月二十二日竹松村から會比に移つた翌二十三日に會比の耕作出精人を入札した。即ち

一 會比村 善左衛門 一田壹町五反歩 右反別相渡候間、彌相成作

國際聯盟と滿洲問題

國際聯盟協會主事 赤松裕之

主 催 橫濱商工會 橫濱工業協會 橫濱商業振興團體聯盟

只今紹介を受けました赤松... 國際聯盟の組織や成立等の... 國際聯盟の組織や成立等の...

の二つの仕事の中で世界の平... 和の維持のために聯盟が力を... 盡して居ることは表面に現れ...

てこれが見地に立つ時、先... づ第一に教へられねばなら... ぬ所は郷土であらねばなら...

事主張するのであつて、... 政治上にこれが原理の實現... を主張したのはルソーの著...

文化材の利用にある。各地... ならぬ。併し乍らこれは... 學習事項の制限とか一様...

最近教育改良運動の動機

東京文理科大学長 大瀨甚太郎

古來郷土を主とした教育... はあつたのであるが郷土... 教育といふ色彩が明瞭に表...

自由は各人の自我意識の... 發達と共に主張され初め、... これより出發して各人は社...

自由主義が勢力を得て自... 由主義の功利主義は教育... 中央集権的の劃一教育に傾...

文化材の利用にある。各地... ならぬ。併し乍らこれは... 學習事項の制限とか一様...

國の帝

如の日旭臨君に界世

三千年來の
神道を説いて
創造精神を謳歌す
創造の姿!! それは

天壤無窮
大八洲國

メーソン氏講演

メーソン氏は米國に於ける
神道研究の權威者であり、
「創造の自由」創造の東洋一等の
著者として有名である。昭和
七年來朝以來神道の研究に没
頭されて居るが、嘗て國民精
神文化研究所に於て其の一端
を發表されたことがある。左
は昭和八年一月二十六日、本
校講堂に於ける講演の大意で
ある。

本日此處に御招きを受け
たことは私共夫妻の非常に
光榮とする所であり、然し
私はまだ研究中の者であ
り、且つ日本語に未熟な者
でありますから、どうか皆
様のやうな學者の前で口頭
試問を受ける學生の如くし
て寛大に聞いて戴きたい私
は日本の偉大な文化の特
に研究しやうと試みてゐる
日本文化に於て最も日本的
なるものは神道である。凡
日本文化の種々なる要素中
多くは外來のものである。
が神道のみは日本固有のも
のである。即ち神道は日本
の國民生活に於て最も代表
的な精神なのである。然し
て神道の核心は創造的活動
である。つまり飽くまでも
やり遂げることである。東洋
に於て日本國民は創造的活
動をなす唯一の國民である
神道は日本の有史以前か
らあつた。高天原以來事實
として嚴存した。それは唯
日本に於て眞理なるのみな
らず宇宙の客觀的眞理であ
る。神道に於ては主觀的精
神が客觀的宇宙へ展開する

的獨裁的に支配すると言ふ
考へが總てないものである
人間を單に機械とは見ない
のである。自由意志による
活動を認めるのである。全
知全能者が神道の思想に無
いと云ふ丈で無く神道は元
來民主主義に依つてゐる事
を發見するのである。日本
の太古の人々は「デモクラ
シー」の信者であつた事に
疑は無いのである。
若し諸君が日本の神話を
充分に研究するならば日本
人の活動は創造的民本的で
ある事に氣がつくであらう
常に又絶えず神道に於ては
自分自身を信する事が存在
するであらう。日本の歴史
に於ける最も偉大な信仰
日本文化の特色を研究しよ
うとするならば特に諸君が
崇神天皇を研究される事を
薦めたい。何となれば天皇
は日本の建設者の一人であ
るからである。諸君は崇神
天皇が日本の建設者である
と云ふ事を考へた事がある
だらうか。之を研究する責
任は諸君に於ける。今迄に
てゐないとするは其は大き
な缺點である。天皇は日本
だけなく世界に於ける偉
大な人格者であつた。何
故か。天皇の御代迄は三種
の神器が宮中に置かれた。
日本の最も古い書物として
有名な古語拾遺に依れば崇
神天皇と神との間に殆ど區
別が無かつた。然るに天皇
は神器が常に宮中にあると
云ふ事の畏れ多い事を深く
感ぜられて之を靈域に遷さ
れ皇女をして齊宮にせられ
て守らしめ給うた。同書に
よれば宮中で御喜びの歌を
ど作られて居る。その點は
日本書紀に於ても古事記に
於ても力説されてゐる。こ
れは日本精神の創造的活動
がさうさせた云へるので
ある。

が、どうか天皇の如き獨創
的の持たれる方であつたこと
を記憶して戴きたい。羅馬
の同時代には文明は非常に
進んだ物であつた、が羅馬
の文明以上のの崇神天皇の
創造的活動力を有つてゐら
れた事を記憶して戴きたい
日本歴史に常に現はれる
創造的活動力は何時も不
思議なる方法で現はれて居
る。此の創造的活動は一見全
然反對の方向にある様に思
はれる。一は個人的に現は
れる一面で、今一は非個人
的である。全體が一緒にな
つて創造的活動を現すと云
ふ方面である。凡そ創造的
文化には此の二つが調和し
均を保たうとするのが常
である。が仲々バランスが
取れない。
若し一の文化が滅亡せん
としてゐる場合は何れか一
方だけ勢力を得て仕舞ふ
之に反して生々たる文化に
於ては其等二つが相俟ち
互に相補つてゐるのである
此の二つの要素が互に調
和し又互に補つてこそ人類
の進歩發展が有るのであ
る。
日本文化の發展史に於て
は此の二つの要素が常に平
均を取らうとしてゐる。ど
ちらかが勢力を占めると他
が之に挑戦して平均を取ら
うと努めてゐる。
其の一例は聖德太子の憲
法十七條である。聖德太子
の憲法十七條を詳しく研究
なさると分ることであるが
各人の流動を創造的の自己
活動を當時の豪族の権力から
解放されたのであつた。其
の時代迄は各人を實際支配
して居たのは地方の豪族へ
あつて、天皇の御指示により
充分に及ばない怨があつた
ので之を回復し確立するの
が太子の目的であつた。各
人に取つては當時の社會組
織は極めて不自由であつた
から地方の豪族の抑壓から
人々を解放し天皇自ら政治
を御覽になるのは極めて結
構な事に感ぜられたに相違
ない。それによつて統一と
共に活動の餘地が與へられ

未だ潜在意識的で自覺的
でない點がある。自己表現
に短乏であることは現代に
於て非常に危険である。即
ち自己を他の國民に説明し
理解させる事が出来な
い。日本は之に反して内面的
訓練の一面に重きを置き過
ぎて居るのではない。内
面的訓練も更に一段と高
い訓練の活動的發展の一助
となれば其れは結構である
が思はれ無き訓練は人間
の能力を發揮する手段な
らぬ。故に尊いのである。直
接活動に於て訓練が日本に
尊い事である。日本人は教
育の言葉で言ひあらはす事
が出来ぬことを餘りに長く
教へられて来た。勿論眞理
は眞理である。然し言葉で
現せぬ眞理を言葉で現さ
んと努めたからだと云ふ事
は口實にはならない。これ
が大なる日本の弱點であ
つて、困難は此處に基因す
と思ふ。事實に於ける今日
以上の活動今日以上の進歩
を達成は無難であるが然
し其れに於ては充分でない
能力を發揮し理解せしめ
ねば私には不満である。
神話に依れば日本は言葉
の國である。書紀にも「言
霊の幸國」とあるが日本人
神を失つて来たのではない
か。其の精神を取り返して
戴きたい。其の能力即ち日
本は世界に偉大な力を發
揮出来ると思ふ。若し然ら
ば日本は世界的に非常
な損をすると思ふのである
其れに就いて二つの當面の
問題がある。第一は神道の
中にある根本思想の發揮で
ある。或意味に於て其れは
創造的精神が餘りに強い故
に「ボルンエイズム」の
影響を受ける事は無い。
然し日本にも一つの弱點
を考へざるを得ない。それ
は自己表現能力の欠乏であ
る。日本は創造的活動の發
展によつて事實に於て色々
居るがそれを表現する上
に大きな缺點がある。日本は

婦人家庭欄

第三景

入學試験の日(二)

女教師二十景

幔幕を内からめぐるし、西の第十教室、國語の答案考査場は、さすがに春分、近頃とて、和やかに輝かし、室の一隅のストロブにかけられた湯わかし音のどかに、窓外の彼岸櫻は、蕾やゝに解けて、春世話好きのC先生が心づくしのコーヒーを喫みながら、今日は、此室には、給仕をも出入せしめない、煦々たる春光の抱擁裏に在つたT子は、ふと、一鳥啼かざる深山の如き寂靜の現實が、外の騒動と相容れないのに、気がつくと同時に、忽ち階上の試験場や、階下の父兄の試験場へ空気がなかり出たが、當面に答案考査について、改めて審議を開く大事を控へてゐたので、すぐに氣をかね、他の國語の先生方と椅子を並べ、額を掲げた「作文」は、「講義を讀む、四人は、それ、意見を見せ、結局水も洩らさぬ周到な方法を決定したのである。完全に一時間は過ぎた。第一校時終了の鈴……全校が一どにホッと吐息をしたやうに思はれた。二階は人音が可なり激しい。今まで静まりかへつてゐた一教室、試験場が、りりかまでとの二冊を前にして

M 生

答案の假綴ぢにしたのを、持て一心不亂に朱筆を動かして、春の樂と云ふ作文に向つて来たらしく、やゝざわめくのT子は聞かぬ。「生徒の注意が統一されませんから、已むを得ざる外、父兄、附添人は、控へ室から出ないやうにして下さい」と、T子は元よりN先生も、先生も、其の方を向かずにはゐられなかつた。「もう無いだらうと思つたところ、やつぱり一瓢を携へて花見に行くのがありますよ」と云つた先生は、「困つたな、文章は、全く悪くないのだが、かう虚偽を並べたのでは、點のつけやうがない……宜しく、諸君の再調査を請ふことにして……」と、其の番號を、深く折つて次へ移つた。T子は、一生懸命に「春の樂」の上の點をつけて行つた。一冊目には、さのみ傑作もなかつた代り、又非常な悪文も見出せなかつたが、二冊目は、最初から名文に接するを得て、T子は我事のやうに喜んで、番號T14に次第に進んで、番號T14に來た時、朱筆を持つたまま、嘔然として了つた。春のたのしみや朝湯に、春のたのしみや花見で御座る。二人をさうとう向島と、都々逸やうの二首が認められてゐるのに、正にぶつたからであつた。「如何したませうね」T子は「T14番にはかわらさうと思つたが、他の國語の先生に示して、一同の意見を聞くより外はなかつた。「どうも少し變ですことね、此子、あたまがどうかしてゐるのではないでせうか」先生は、かう云つて小首を傾けた。「しかし、字もあまり拙くはない……事によつたら、試験官を愚弄するつもりではないかな」これはA先生。「まさか、かわいさうに子供ですもの」先生は、「二番を辯護する。僕がね、以前高女にみた時だ、やつぱり入學試験の作文に「遠足」を出したところ、どこをどう取り違へたものか「猿の足」と思ひ込んで了つた生徒があつたね、猿の足は人間より短く、毛が三本不足してゐる」と云ふやうな書き出しで、とてもグロ作文をやつての……ウム、無論ゼロには違ひなかつたが、全く奇想天外どころの沙汰でなくて、ほんとうに笑ふことも出来なかつたよ。子供には、時々大人には思ひ及ばない面白いことを考へてゐるのがあるから、其のT14番さんは、あとで數學の方をのぞいて來て、あたまた異常があるのか、それとも、別に散文とも韻文とも説明して無いのだから、都々逸も一種の韻文だから、どう思つて作つたのか、どうか調べてませう」とN先生は裁決した。そこで四人は、又沈黙して筆を動かした。T14番を、丁寧に折つて、次へ、と採點して行つたのである。一同が、相前後して、第一次の調査をしめきつた時、受験生達は、もう休憩室で午後後の少時を休んでゐるらしかつた。午後は、今一回數學の……最後の時間は國語講讀の試験である。

作法

刀劍に關する心得

細支千足の名ある日本！而も今や軍國の春である。刀劍に關する作法上の知識を得るには好適の時ではないか。A すゝめ方 刀劍をすゝめるには、先づ欄を自分の左に、鞘を右にして左手で、鞘の上部を下から……其の中程を右手で上から持ち、胸位の高さで捧げ、客の正面からすゝめ、二、三膝(立禮の場合)は二、三歩退いて、刀身を一體する(但し、客に刀身を見せんと欲する時は、少し鯉口をくつろげて捧げ……) B 受け方 主人、刀劍を我が前に捧げ至つた時は、客も二、三膝(立禮ならば二、三歩)進み出で…… C 拜見のしかた 刀劍を拜見する場合は、必ず袂紗か、又は清らかな白紙にて取扱ひ、又は口にも白紙をふくみて、息のかゝらぬやうにすべきである。鯉口をくつろげてない時、刀身を拜見しようとするには、主人の許可を受けてからでなくては行けない。刀身を拜見するには、袂紗で欄を持ち、鯉口をくつろげてから、靜かに抜くのである。其の方法は、右手に柄を、左手に鞘を持ち、双部を上にして開くのだつた。どこからか鶯の聲が聞えて窓外はるかに浮ぶ片雲は無心……「さうとにかく書御飯にいたさせよう」と、他の三人にすゝめるのであつた。「では、さうしませう、お互に丁寧に調査するのですから、今日はトツツ暮れて了つてもりてゐなければならぬ。飯だけでもゆつくり食べませうよ」と云ふ先生の言に、各々出出して、答案に生徒の姓名と云ふ、大事に他の机の上で載せて、靜に持參の辨當をした。T先生朗讀「御二人様いよ、御機嫌よく御座遊ばされ、御嬉しく存じ上げ参らせ候。まづ、申上げ候は、私こと、何とも一分相立ちがたきこと御座候まゝ、自害いたし相果て申候、其の次第細々御申上げた候へ共、ゆふべ、さつへそれとなく物語致し置候まゝ、御開遊ばし候はん存じ参らせ候。細々申上げ候ては、却つて御敷きの上で御立腹も重なり候はん存じ候まゝ、文には申上げず候。死ぬる程の事ゆゑ能く、の事と、恐れながら思召し下さるべく候。御奉公いたし候うち候。少しも御恩の程忘れ候やうは御座なく候へ共、手ばなれ居り候まゝ、心に委せられず、是のみ草葉のかげにても氣にかゝり参らせ候。必ず、御敷き遊ばし下さるまじく候。唯々、何事も、皆、先の世の約束と思召しあきらめさせられ、罪の一つも軽くなり、佛果の種となり候やうに、さかさまなる御事に御座候へど

或る座談會

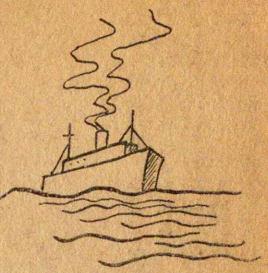
K 記者

換交識知

又高女に於ける二月の座談會は、例に依つて第一土曜日の午後一時に開かれ、C女史が問題希望者として抽籤にあたり、T先生が古人(女性)の書翰について研究を發表することになつた。T先生は、膠寫版すりの幾直に配付の紙の上に目を落

へも、あとの程如何と案じ申候。何方へも心の程になりがたく、乳母は、分けて悲しみ候はんところを見るやうに思はれ参らせ候。さつ、かやうの事とは夢にも知らず、此の文を御覽遊ばし候は、はじめて驚き候はん存じ上げ参らせ候。年月の中、ねんごろにいたはりくれ候まゝ、能く仰せられ下さるべく候。いつ迄認めても盡ぬ御名残に、御暇乞ばかりと申し候。御座候はんまゝ、皆夫々に御見分けさせられ、形見に遣はされ下されかし。此の内妙觀院御繁昌の節、私へ下され候地蔵様と紙一包参らせ候。御ともじ様へなまじながら上げさせられ下さるべく候。九重の御守、懐中の鏡は朝夕御前様へ出で候度ごとに、私貌をうつし候まゝ、御逢ひ遊ばし候と思召し御覽下され候やうにと差上げ候。必ず、御敷きの種と思召し下されまじ候。三五郎方へは鼻紙ぶくろ遣はし申候。お宮へは、これも殿様よりいたゞき候御繪と、奥裏よりいたゞき候かかさし、子安貝遣はされ候まゝ、成人の後、姉と思ひ出し候へど、姉つかはし下されべく候。下谷の半平様、百代どのなど、其外、皆々様へ暇乞仰せ下されべく候。小田原の伯父様へも御忌かゝり候はん、と、定めて仰せつかはされ候と存じ参らせ候。其の折から、妙くわんざまへ、此觀音様つかはされ下されべく候。御伯父様へもよろしき品何なり下されべく候。御座候はんまゝ、本庄の乳母へも、此金袋封のまゝに下されさるべく候。私より、前よりいとほしがり候候まゝ、あかづき候ものにて、もつかはし度く存じ候へども、俄のことゆゑさつへ計りつかはし参らせ候。是さ





船中一泊 大島旅行記

平一壽生

四 波浮港 元村 岡田出帆
間伏しから波浮港まで...

大島は自然の雄大に抱擁
されたる。偏心された人
間を伸び得る人にするみ力
を持つてゐる六踏園、春養
園もここに在る、人は自然
のみ力を否定する事は出来
ぬ事であらう。

午後三時岡田港出帆、海
は再び幸をあたへてくれた
船窓から太平洋をあぐまで
望み、三浦、房總の兩半島
をながめ、點滅する燈臺に
招かれて、東京灣に入る。

波浮の港は
夕やけ小やけ
あすの日和もヤレホ
ンニサ風るやら

俳句 白幡一燈
田樂と豆の花

田樂や泊まる信濃の片田舎
樂の串までこげし強火かな
田樂やふらふら 味噌のあたたかき

落葉拾ひ

△或る郡での國史研究会、
座長曰く、御意見をドシンド
シお述べ下さい、ナケレバ
こちらから指名致します...

△深く考へて見ると不平な
んぞそんなにあるべきもの
ではない。左に一二記す。

即ち他人に對してどんなこ
とを無報酬でしたことがあ
るか、自分自身でどの位の
努力を自分自身にしたか、

の親、兄弟、親戚はどの位
の人物であり社會に對して
どの位の働きをしたかを調
べて見る、自分自身一日ど
の位の仕事をししてどの位の
報酬を取つてゐるかを静か

著々進む
日本女子會館
建設醜金

先の大日本聯合婦人會大
日本聯合女子青年團は、そ

Table with financial data for '昭和八年度神奈川縣教育會歳入歳出豫算' (Estimated Income and Expenditure of Kanagawa Prefecture Education Board for the 8th Year of Showa). It lists various categories like '歳入之部' (Income) and '歳出之部' (Expenditure) with their respective amounts.

學習自指導 教育年中行事一覽
四月増大号 自力 學級經營の實際
豊富なる教材と本格的教法とは將に
日案式教授指導雜誌界の隨一たり

新小學國語讀本卷一の批判
この充實せる内容、この廉價!!
到底類誌の企及し得ざる處、即刻お求めあれ

最新刊 小學唱歌教授指針
東京音樂學校内 日本教育音樂協會編纂
新尋常小學唱歌 全六冊 文部省檢定済
新高等小學唱歌 全二冊 文部省檢定済